

3 道徳の時間（道徳科）と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

<生徒の意識>

<指導・援助>

学級活動（4月）
「1学期の私の目標を決めよう」
・小学校での自分の姿を振り返り、中学生になった自分の目標とする姿を考ることができる。

教科・総合的な学習の時間
・単元や単位時間で「分かるようになりたい」「できるようになりたい」という思いや願いをもち、主体的に学習課題に向けて取り組むことができる。

部活動の時間
・初めての部活動において、上級生の姿から自分自身の目標を立て、取り組むことができる。苦しさや達成感、満足感を味わう。

道徳の時間（道徳科）（5月末～6月）
「医学ひとすじ」（坪井 信道）
内容項目 A（4）
「希望と勇気、克己と強い意志」
・目標を立て、困難や苦勞を乗り越えながら、その達成に向けて取り組むことが、自分の夢や希望の実現につながることに気づき、強い意志をもってやり遂げようとする心情を育てる。

学級活動（7月）
「1学期の自分を振り返ろう」
・1学期の目標を基に自己の姿を確認し、努力したことや挫折したことを明確にすることができる。

【日常の活動】
○朝の会
・自分自身の今日の目標をもち、生活班の仲間と交流し合う。

○清掃活動
・計画を立て、自分の分担場所や役割に、時間いっぱい取り組む姿を認める。
〈例〉
・反省会で、班の仲間同士でよさを伝え合う。
・教師から意図的に、個別に声をかける。

○帰りの会
・朝の会に立てた目標について、達成できたかを班会で振り返る。
・互いの言葉から達成感を感じる。

・中学生になったので、挑戦したいことがいっぱいあるぞ。
・自分で決めた目標に向かって努力するぞ。途中で苦しいことや面倒になっても、あきらめずに達成するぞ。

・課題について、資料で調べながら自分の考えがもてるようになってきた。仲間の発言をじっくり聞きながら、違いや共通点をさらにはっきりさせていきたいな。

・上級生のように、うまくできないな。苦しいことの連続で、思っていたようにうまくいかないけれど、あきらめずに取り組むぞ。

・自分で決心したことについて、いくつかの困難があっても、あきらめずに取り組むことが自信となり、実現する力になっていたのだ。
・坪井信道のように、苦しくても目標を見失わず、粘り強く取り組んでいきたい。

・自分が決めた目標を達成したかどうかを見つめたい。やり遂げたことや、挫折してしまったことをもとにして、2学期の目標を決めていきたい。

・小学校での自分の姿を振り返り、伸ばしたいところを自覚して目標を決められるようにする。
・簡単に達成できる目標ではなく、努力や我慢が必要になる目標であるかどうかを確認する。

・教科の学習では、粘り強く取り組んだり、分かるまで繰り返し練習したりする姿を認め、価値付ける。

・効果的な練習方法を教える。
・継続することや仲間と声をかけ合うことの大切さを捉えられるようにする。

・困難に直面してもあきらめずに取り組むことが、自信となり、乗り越えていく力になることを大切に指導する。
・困難を乗り越えると自信となり、次の困難を乗り越える力となることに気付けるようにする。

・1学期の成長を価値付け、より自分自身を伸ばすための目標は何かを助言する。また、目標達成のための計画を見届ける。